

公民館報

ちくま

100号記念誌

もっと知りたい
ふるさと

公民館報100号記念

『もっと知りたいふるさと』に寄せて

千曲市教育長 蟹澤友司

『もっと知りたいふるさと』が第100号という大きな節目を迎え、これまでの歩みが一冊の記念誌としてまとめられましたことを、心より嬉しく思うと共に執筆にご尽力いただきました関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

本事業は、千曲市合併後の平成20(2008)年2月に第1号が発行されて以来、屋代、埴生、稲荷山、八幡、戸倉、上山田の6つの公民館が持ち回りで執筆を続けてきました。地域の歴史的事柄や由来、伝承、そして郷土に尽くした人物など、多岐にわたるテーマを通じて「ふるさと」を深く知ることを目的としています。

17年以上にわたり積み重ねられた100もの物語は、編集委員会の皆様や地域の方々の郷土への深い愛着と情熱の賜物です。第1号から第100号までを網羅したこの一冊は、まさに私たちのふるさとの「宝箱」ともいえるでしょう。

この記念誌が、市民の皆様にとって自らの足元を見つめ直し、地域の魅力を次世代へと語り継ぐための大切な道標となることを願っております。今後も本誌が、地域を繋ぐ架け橋として親しまれ続けることを期待しています。

公民館報100号記念

『もっと知りたいふるさと』を発行して

公民館報ちくま編集委員長 小林いせ子

千曲市民の皆様には、日頃から公民館報「ちくま」の発行に、ご理解とご協力をいただき編集委員会を代表いたしまして、心から感謝を申し上げます。

さて、公民館報「ちくま」は平成20年2月、第1号が発行され、令和6年10月に第100号という大きな節目を迎えました。館報「ちくま」は、各地区6公民館の活動報告など多種多様の記事が8頁に記載されています。編集委員会では最終頁に掲載の『もっと知りたいふるさと』が読者の方々から大変好評を得ていることから、この1号から100号までの最終頁のみを1冊にまとめ100号記念として発行することにいたしました。

この『もっと知りたいふるさと』は6公民館が持ち回りで担当をしていますが、内容は地域の方が丹念に研究をされ、掘り起こした郷土の知られざる歴史や文化、自然、さらに人物史など多岐にわたっています。このため「100号記念誌」は千曲市の「ふるさとの宝100選」の資料として大切な1冊になることでしょう。

結びに、執筆された方々に御礼を申し上げるとともに、この「100号記念誌」の発行を契機にふるさとの魅力を再発見していただき、これからも公民館報「ちくま」のご愛読をよろしく願っています。

目次

	公民館報100号記念『もっと知りたいふるさと』に寄せて 千曲市教育長 蟹澤 友司	
	公民館報100号記念『もっと知りたいふるさと』を発行して 公民館報ちくま編集委員長 小林いせ子	
	もっと知りたいふるさと	
①	門付けと巡礼の話	4
②	「恋しの湯」の赤い小石は	5
③	県宝「松田家住宅主屋」	6
④	桑原の宿の原の、西行法師の袈裟かけの松	7
⑤	北国街道矢代宿	8
⑥	延喜式中村神社と祭典	9
⑦	智識寺「お観音さん」	10
⑧	道標が誘う八幡街道	11
⑨	千曲高原のホタルの里	12
⑩	塚穴古墳	13
⑪	須須岐水神社	14
⑫	天皇子神社	15
⑬	波閉科神社	16
⑭	更級の遺跡幅田・円光房と縄文祭のはじまり	17
⑮	北国街道西往還 火打石茶屋	18
⑯	稲荷山四神について	19
⑰	倉科の観音様「倉科女に森男」	20
⑱	北澤祖舟先生と大角豆(ささげ) 新田	21
⑲	荒砥城跡 城山史跡公園	22
⑳	地図に載った冠着山(姨捨山)と塚田雅丈翁	23
㉑	森將軍塚古墳と三角縁神獸鏡	24
㉒	登録有形文化財 荏沢川石堰堤	25
㉓	雨宮杜の神々たち	26
㉔	千曲川とのたたかい	27
㉕	カ石条里遺跡群	28
㉖	「戌の満水」から思うこと	29
㉗	八幡の「七頭」巡り	30
㉘	塚穴古墳に魅せられて	31
㉙	「矢代宿」宿場町の悩み	32
㉚	花栽培の新技术	33
㉛	松代騒動は上山田村から	34
㉜	さらしなは”地名遺産“	35
㉝	「探し歩記」姨捨三大絶景ポイント	36
㉞	佐野山城跡とかつての攻防	37
㉟	生萱 五台山文殊尊の由縁について	38
㊱	徳川家の天領地―杭瀬下の歴史―	39
㊲	「カ石」っていろいろな歴史がある	40
㊳	国の重要文化財 水上布奈山神社	41

③9	県下初のドラマチックエリア新「姨捨サービスエリア」	42
④0	「信州山の日」に協賛して	43
④1	水とのたたかい 土口石積みの住居	44
④2	国指定史跡 有明山將軍塚古墳	45
④3	肝煎市兵衛と新堤池	46
④4	葛尾城の「陰の松」葛尾山麓に暮らして	47
④5	「川中島の戦い」は八幡がスタート	48
④6	私の新しい故郷「大田原」	49
④7	杏の里森 岡地天満宮の縁起記	50
④8	船山神社（旧三島大明神）	51
④9	上山田温泉の発展に尽くした人々	52
⑤0	「冠着山一名姨捨山」の歴史	53
⑤1	猿ヶ馬場峠の由来	54
⑤2	稲荷山の祇園祭と牛頭天王祇園神輿	55
⑤3	立川流の彫刻がある土口の古大穴神社	56
⑤4	寂蒔上町の史跡と青麻大神	57
⑤5	子安地蔵のロマン	58
⑤6	荒屋道祖神とサイカチ	59
⑤7	筒花火「八幡のとんとん」	60
⑤8	治田神社	61
⑤9	里人の心のよりどころ倉科神社	62
⑥0	打沢の馬鳴尊	63
⑥1	智識寺今昔物語	64
⑥2	羽尾の瘡守稲荷神社	65
⑥3	我が郷土の長野盆地（善光寺平）	66
⑥4	稲荷山城と稲荷山村の誕生	67
⑥5	「雨宮之渡」詩碑建立始末記	68
⑥6	早咲きの「魯桃桜」	69
⑥7	上山田の六神社	70
⑥8	三島神社	71
⑥9	「探し歩記」もし現在の芭蕉が八幡を歩いたとしたら	72
⑦0	千曲市指定文化財「豪族居館型山城小坂城跡の今昔」	73
⑦1	石井の手児	74
⑦2	埴生の地名「小字」について	75
⑦3	郷土史家 中島惣左衛門先生	76
⑦4	温泉の開祖 坂井量之助	77
⑦5	八幡代地区の曳き屋台と花屋台	78
⑦6	商都 稲荷山隆盛記	79
⑦7	埴科古墳群 長野県史跡 土口將軍塚古墳	80
⑦8	宮内墨斎翁について	81
⑦9	上山田地区に残る「小さな古墳」	82
⑧0	江戸時代の北国街道下戸倉宿	83
⑧1	八幡の水	84
⑧2	善光寺地震犠牲者慰霊塔	85

⑧3	千曲警察署の歴史……………	86
⑧4	永昌寺と戌の満水……………	87
⑧5	郷土上山田を愛した農村歌人 山崎 等先生……………	88
⑧6	大池区を分断した一本松ルート(中央道長野線)……………	89
⑧7	戌の満水で被災した福井神社と芝宮神社……………	90
⑧8	稲荷山の境界紛争……………	91
⑧9	生萱村の地を紹介します……………	92
⑨0	歴史にみる鑄物師屋……………	93
⑨1	学童疎開を受け入れた上山田温泉……………	94
⑨2	小船山の延命地藏尊……………	95
⑨3	大池の百八灯と小松姫……………	96
⑨4	宮坂静生先生の句碑 龍洞院に建立……………	97
⑨5	生萱村の地を紹介します(その2)……………	98
⑨6	桜堂地藏尊と奉賛会……………	99
⑨7	山城の一生―入山城を例に……………	100
⑨8	仏事としての大頭祭〜かわる伝統・つくられる伝統〜……………	101
⑨9	「更級里」を刻まれた諏訪社……………	102
⑩0	森將軍塚古墳とボランティア活動……………	103
	〜古墳の草取り作業100回達成〜……………	104
	もっと知りたいふるさと一覽……………	106
	公民館報ちくま100号記念誌……………	106
	『もっと知りたいふるさと』の発行について……………	106



咲き誇るアズキの花々



あじさいの寺「智識寺」